

マスターフロー[®] 20 (旧名: GAD-2000)

MASTERFLOW[®] 20

特殊セメント系/非金属骨材系 充填モルタル・コンクリート用混和材

マスターフロー 20は、十分な品質・配合・施工管理のもとで、使用時に良質なセメント、骨材および水が準備され、ミキサで均一に練り混ぜることによって、モルタルやコンクリートに優れた流動性と施工性ならびに適度な無収縮性を付与する、充填モルタル・コンクリート用混和材です。

マスターフロー 20はレディーミクストコンクリート工場で製造でき、各種構造物の据付けの中でも特に大容量施工の場合に適します。また、配合(砂結合材比)が異っても幅広く使用することができ、安定した品質の充填モルタルおよびコンクリートが得られます。

特長

1. 施工性(流動性)

マスターフロー 20を配合したモルタルおよびコンクリートは、少ない水量で優れた流動性と良好な施工性が得られ、対象となる間隙を十分に充填することができます。

2. 無収縮性

充填したモルタルおよびコンクリートは、安定した無収縮性を示します。

3. 強度特性

良質な材料(セメント、骨材、水)を用い、適正な配合によって練り混ぜられたモルタルおよびコンクリートは、常に安定した強度を発現します。

4. 耐久性

乾湿の繰り返し、温度変化、あるいは凍結融解等の環境条件に対して、長期間にわたって安定した耐久性を示します。

5. 大容量施工

広い面積や間隙の大きい箇所に施工する場合は、レディーミクストコンクリート工場においてモルタルおよびコンクリートを製造し、大容量施工を行うことが可能です。

用途

- 各種構造物の間隙充填で、特に大容量施工が必要な箇所
- コンクリートの嵩上げ等、その他

仕様

密度 (g/cm ³)	1m ³ 当りの標準使用量		コンシステンシーの範囲		練上り温度の範囲 (℃)	可使用時間 (20℃)
	モルタル (kg)	コンクリート (kg)	モルタル (J14 漏斗・秒)	コンクリート (スランプ・cm)		
2.68	75	50	5~11	22~25	10~35	30~60分

使用方法

1. マスターフロー20は、混和材タイプの製品ですので、使用時には良質なセメント、骨材および水を準備してください。
2. マスターフロー20は、レディーミクストコンクリート工場ではモルタルおよびコンクリートの製造時にセメントと同時に投入・添加して、均一に練り混ぜてください。
3. 1m³当りの標準使用量は、モルタルの場合は75kg、コンクリートの場合は50kgです。なお、マスターフロー20コンクリートの単位セメント量は、330kg/m³以上としてください。
4. 配合の選定は、試験練りを行い決定してください。

配合例

GAD-2000 モルタル

砂結合材比 S/(C+マスターフロー)	水・セメント比 W/(C+マスターフロー) (%)	配 合 (重量比)		
		セメント	マスターフロー-20	砂
1.0	33~39	0.919	0.081	1.0
1.5	36~42	0.902	0.098	1.5
2.0	41~47	0.885	0.115	2.0

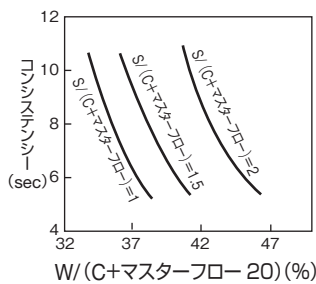
GAD-2000 コンクリート

粗骨材の 最大寸法 (mm)	水・セメント比 W/(C+マスターフロー) (%)	単位セメント量 (kg/m ³)	マスターフロー-20 (kg/m ³)
20	34~46	330~400	50

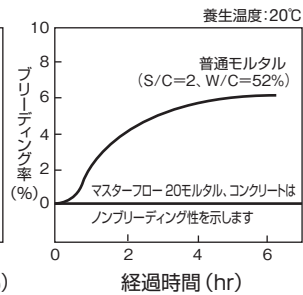
粗骨材は碎石を使用

性能

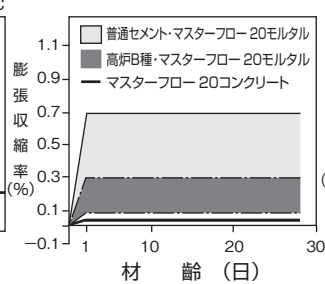
■ コンシステンシー



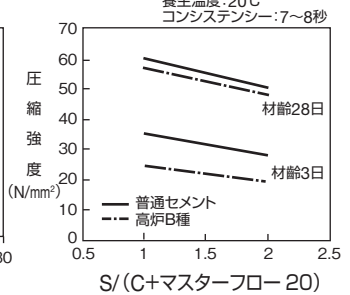
■ ブリーディング率



■ 無収縮性



■ 圧縮強度



施工上の注意事項

1. 本品の練混ぜには必ずミキサを用い、練混ぜ水には水道水またはこれに準ずるものを使用してください。
2. 練混ぜにアルミ製の羽根等を使用した場合、異常膨張する恐れがあるため使用しないでください。
3. 充填間隙が薄い、または厚い場合および無拘束面(外部に露出する面)が大きい場合は、環境条件によりひび割れ等の不具合を生じる恐れがあるため、弊社建材営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

取扱上の注意事項

1. 本品は吸湿性を有する粉末品ですのでセメントと同様に取り扱い、袋単位で使用し、破袋または一度開封して放置された製品は使用しないでください。
2. 本品は水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
3. 取り扱いに当たっては、防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
4. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
5. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
6. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ、吐かせた後、専門医の診察を受けてください。

包装形態

12.5kg・防潮袋詰



The Chemical Company

※本商品についてのお問い合わせは、本社建材営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

BASF ポズリス株式会社

本 社	東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー 21階	混和剤営業部	TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980	建材営業部	TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980
仙台支店	TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634	大阪支店	TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244	福岡支店	TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273
東京支店	TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960	札幌営業所	TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061	横浜営業所	TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487
名古屋支店	TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713	宇都宮営業所	TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263	静岡営業所	TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515
		千葉営業所	TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183	広島営業所	TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505
		上越営業所	TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852	高松営業所	TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218
		(松本全沢事務所)		鹿児島営業所	TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

www.pozzolith.basf.co.jp

- ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。
- ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。
- 万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。
- 本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。
- BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

